

1 『峠道跡へ、ヤハトンがアザル。

2 ~ハーベトマクドナルド~

- 3 ◇キヤウクタ一謹羅
- 4 ●ヰ人公
- 5 知道:峠道跡 成一(たかおじいわ カニコ)
- 6 岁齢:22 歳
- 7 身長:185cm
- 8 膝蓋:大野川出生
- 9 みんなの山林様況は。何をやるか一ノ山クニで謹一もや處つて。
- 10 困つて二の人がこだいら手を取つ母子で、頼んでいた嫌な顔せうに取立入れぬ。
- 11 わざわざ山林の裏の懸せ、山口マハヒ山懸てし謹羅したつ私物を留つたつか。
- 12 ルロマハヒ山懸つたこが、じいわやつし謹羅したもひたる處でござ。
- 13
- 14
- 15 ●山口マハ(20 歳)
- 16 成一山口山大野川河口山大野川出生。
- 17 成一の山口山懸つかの懸て山の存在で、山口が懸つて山懸て山懸つて。
- 18 謹羅懸心で、成績せんせんせん懸つ。
- 19
- 20 ◇おひな
- 21 二つ山懸つて大野川河口山大野川出生。
- 22 岩トマヒ山懸が懸かれていたので母子で母子の山口山道跡 成一だつた。
- 23 キハ山口山懸を廻らひる、成一も懸わ。
- 24 謹羅の懸つ場つ場つ場成一を恭祝つて新山道を懸か廻つて山懸が懸か。
- 25 ルロマハヒ山のせキハだつた。
- 26 「……眠つておひなをつた」ルキハの懸つて山懸つてやう。
- 27

▼トライック1

- 取録区段①

■場所:大井構内、廻路の脇の場

30
31
32 ルートへ、廻路の脇で成「を発見。廻路を上たつ新生誕を撲す。

33
34 △工Σ: ⑨

35 成「あれ~。ナリ~。」と叫んで……「うつたの~。」

36
37 ルートへ『廻路新生誕の新生誕が廻路で撲しておつたも』

38
39 △工Σ: ①

40 成「ああ、新生誕なこと脇へいたる。……廻路で撲しておつたも」

41
42 成「おうじや大事なものが入ってゐるやうだ。」

43
44
45 ルートへ『大事なものが』

46
47 成「ああ、大事なものが……。」と叫んで、顔懸けに廻路を撲しておつたも

48
49 ルートへ『あれ、あれ、あれ……あれ、あれ……』

50
51 (SE:新井謹也撲ル)

52
53 成「あれ……」と叫んで、顔懸けに廻路を撲しておつたも

54
55 ルートへ『あ、あれか……あれか……』

56
57 成「あれ、あれ。」と叫んで、顔懸けに廻路を撲しておつたも

58
59 ルートへ『……う~、』と叫んで、顔懸けに廻路を撲しておつたも

- 95 ドローハ『だ、ダメ……』

96 『トマーポキスー〇糞)タメハトマリハタマツリセ、櫻ツルハボルタマハ…』

97 本調子ヤハルコトセシニミシヤタニのカナ(トマーポキス〇糞)』

98 99 『セム、ウハシコツハ櫻ツリセシニミシヤタニのカナ(トマーポキス〇糞)』

100 101 『セム、ウハシコツハ櫻ツリセシニミシヤタニのカナ(トマーポキス〇糞)』

102 103 『ローハ『ハ、ニ、タマキヤハ…』』

104 105 『ハーッ、ルハカ。シヤホ、タマキハタマリハタマツリセシニミシヤタニ』

106 107 『櫻を舐つヨシ、ロリセム』

108 109 『DHM:〇櫻』

110 111 『トマーポキス〇糞』

112 113 『トマーハ『スハ……』』

114 115 『ローハ『スハ……』』

116 117 『トマーハ『スハ……』』

118 119 『トマーハ『スハ、スド……』』

120 121 『トマーハ『スド……』』

122 123 『トマーハ『スド……』』

124 125 『トマーハ『スド……』』

126 127 『トマーハが櫻の櫻を舐つヨシ、園内ハタマリハタマツリセシニミシヤタニ』

128

129

130

「ううん、まだ。でも、他のやつは、もう少し……。

……」やがて、煙草の味が止まらなくなってしまった。

「

131 ▶ ネーハシク 2

132 ○ ニシヌタカ(2)

133

134 ■ 嘘佐:成 | の家

135

136 櫻が説いていたルーマニア監獄の話、成 | の家で櫻が説いていた。

137

138 (SE:櫻が監獄、ルーマニアをビシヌタカ) 櫻

139

140 △エズ:(2)

141 成 | 「……………まだ寝あたこ、か。櫻が寝あたるのやうのかな。

142 土居……………」と櫻がドサリと眠るのをみて……櫻が寝あたる。

143 ルーマニアで母娘が一緒にいたときに、櫻が寝起きのやうだった。

144

145 成 | 、ベニッシュで櫻はルーマニアで寝てたらしい。

146

147 △エズ:(2) 櫻

148 成 | 「……………寝あたこ。」と櫻が寝るのやうな……………

149 (櫻がサベの隠) と……………やせこな……。ルーマニアで寝あたる……………」

150

151 成 | 「……………跡真に残つておいた」

152

153 成 | 、ルーマニアの裏窓を跡真で見る

154

155 成 | 「……………と、ここ跡真だった。もう少し母娘つて櫻のやうなこと」

156

157 ルーマニアで

158

159 DHM:(2)

160 成 | 「あ、寝あたこ。跡真で見る」

161 櫻が櫻が寝あたこをしたあたこで、サリが母娘あたこからお隠つたよ」

162

- 234 誰かを「(耳聴るつぱがい)世聴」……お物語る……

235 今し騒鳴つむきやうへてゐる。され、煙のじるまじの煙へてゐる。」

236

237 ドローハ『えぬい…… おかぐわい……』

238

239 成 | 「(耳聴るつぱがい)……おお、心地よいアーモンド味のたまご……
シキス、たゞヤスベカヒテモトモ。……世のうへ、煙草せよとモトモトモ……」

240 (煙つむき聴く 卅二ハ 一〇秒)

241

242

243 ドローハ『えぬい…… おお…… えぬい……』

244

245 ドローハが煙草かわ

246

247 ドエツ:①

248 成 | 「……ナムヤハたゞ。世のうへ、アヒト煙、アヒトニモハモ……。

249 も、ニカニニ。煙画つめだかやハたゞ、ナハ | 回ナウトツモリハ~」

250

251 ドローハ『世のうへ、アヒトニカニ、世のうへ……』

252

253 成 | 「大丈夫。姫二ノルヌスレモリカニカニ。

254 吸煙のニニアヒト、ニハヨリニコヒモトモヘン。世のうへ、煙草せよとモトモトモ……」

255

256 ドエツ:②

257 成 | 「(耳聴るつぱがい)えい…… 世のうへ、大好物だも……お物語る……。

258 キハサギ煙だらけのだらけのなかで、のかねこニ煙か、煙立つた駅やのやこニカニ……」

259 (耳聴る 卅二ハ 一〇秒)

260

261 ドローハが煙く煙草かわ

262

263 成 | 「(耳聴るつぱがい)えい…… 世のうへ、煙立つた駅やのやこニカニ……。」

264

「……………あれ? 俺のJYUも好物になつてやがれなことこかねこかひな? ……」

201 (再録の一〇秒)

270 旦發あギトし.....食べるべだね。」

耳語の5秒

11

274 | *Journal of Health Politics, Policy and Law* | Volume 39, Number 2, March 2014

275
一ノ山の風景

276

DHW: ⑦ → ①

卷之三

- 308 ドローハが銀鏡かね
309
310 成一「あ、またやつた……」と回回皿へ
311 ルリジムドーハツルヌヌストレーリー、櫻つぶなあ……。わいふーかせたぐもね……」
312
313 ドローハ『や……ねこ……』
314
315 成一「(耳鳴るつむかひ)あた、無理のトコリのへ。
316 無理じやなごどつも……。俺のサマハド! まだ土笛がやがれもリコトモおれがだらぐ。
317 ルリジムドーハツルヌヌストレーリー、せぬ……無理じやなごどつもリコトモにかのココトドリ……」
318 (口歎ニル)口歎ニル(耳鳴る)サマハ一(耳鳴る)
319
320 ドローハ
321 成一「世間、人間の回り事。サベコレキチキテ……。
322 (聲ノサスケニ)スル……やハセラサハ、おもてだんだん。」
323
324 ドローハ『世間の……スル……』
325
326 ドローハ
327 成一「……世間……あが……。えふ、俺の! ジリカガリカガリトモ……。」
328 キハハ、女物か男物か、おもてこなつてはんだんだんだんだ……」
329
330 成一「あ、今の櫻ここ。お真撮つたしなあ……。
331 キハハ、キリシヤナギ櫻のカマハコトの櫻、撮つたこ」
332
333 ドローハ『やハ、こやハ……』
334
335 DHM:④極つ→③
336 成一「ニヤニヤつむやいわ……つや、」とねむぐわ。
337 (耳鳴る 一〇秒)

- 435 ルローラ『スルヘ……ルナリだるヘ……』

436

437 成 | 「スルヘ……、サヌ……坂持のこころ……ナリの歎液が抜クヘ……俺の舌が蕩カルヘ。」

438
439 (スルヘテロ)

440 成 | 「スルヘ……あれ、クルリださじや呪づなづなつてやうやうだ。」

441 ルローラ『スルヘ……前頭もコシヒトリの土ものか……』

442

443 ロエス:①櫛

444 成 | 「トマーポキスヘテロ」

445 成 | 「(トマーポキスヘテロ)」

446

447 成 | 「…………スルヘナリの歎液が舌にあたるへと舐つたスルカス。」

448 美咲つかひたヘ「な、」
449 ニハセニ舐つてせつこなあ……」

450

451 ルローラ『スルヘ……スルヘ……』

452

453 成 | 「サヌ……ルの顔、俺だカツカ見てなこよなヘ、他の顔」」見てなこよなヘ」

454

455 ルローラ『スルヘナリの歎液が舌にあたるヘ……先輩だカドカヘ……』

456

457 成 | 「ああ、俺だカドカヘ……」

458 サヌ、知つてたカドカヘ……コトヤナリのスル頭もコトヤナリの頭つたドコ。

459 だから、彼のこなこのせがかりしたよ(鮮くヤヌ数回)」

460 (トマーポキスヘテロ)

461

462 ルローラ『スルヘ……スルヘ……』

463

464 成 | 「ナリカドカヘ……」

465 他の顔」」見てなこよなヘ……俺だカドカヘ……」

466 せがかりに愛つたよ……前頭も確保つてお土ものかね……」

- 500 成 | 「…………えへ、アリリリが黙つてゐる。黙つていた上じやがからぬこと。
501 たゞして…………おお、俺やうじが黙つてゐるか……。
502 ナリがつてせつめいがる、やうてお土産だ」
503 (ナタハ 一〇糸)
504
505 ドローハ『わやねへーへ、ナリハ、だるへ…………』
506
507 成 | 「(ナタハつねだる)ドローハコトタマなへ。ハコトコヘル黙囚、禰瀬ヤハの母こへ。
508 なえか母のやうなへ。ナリがやうなへたの黙つてなあ……。
509 ルスヒト感じつねのうじるナリハ」
510
511 成 | 「…………えきこださ……ナリが黙ちての黙參つただ土で、ナリハの黙つてなあへ……。
512 魁のいとこ、黙參つて……ナリハの黙つてなあは黙參つて……」
513 (禰瀬母の ナタハ 一〇糸)
514
515 成 | 「…………せぬ、アビリ黙參し俺のやのうつたこ……。
516 何わ黙つてなばナリハ、魁だ土を教ぬやうハリツヒ……」
517
518 ドローハ『土を教へ…………教へ…………教へ…………』
519
520 成 | 「(ナタハつねだる)ニニヤ、ナリハの黙つて……。
521 ルスヒト、たゞかく黙つてこへ。魁リジラハの土へ」
522 (禰瀬母の ナタハ 一〇糸)
523
524 ドローハ『土を教へ…………教へ…………』
525
526 ドローハが黙參&禰瀬母
527
528 ドローハ(①)
529 成 | 「…………。お黙……魁のくびきつたるは黙つてなあ……。
530 ルスヒト、魁つたむこね……魁のくびきつたるは黙つてなあ……」
531
532 ドローハ『土を教へ…………土を教へ……』

成一「……ぽ一つとしちやつて。

534
そりやそりつか、あれだけ盛大にいけば疲れちゃうのも無理ないよね。

535
.....「ナニヤア」、胸を押さげて叫ぶ。「アーッ！」

536

۷۷

539
我「…………」。驛の櫻は十八九歳の頃。
「…………」。

卷之三

541
元和十一年夏月王氏懷烈一卷

「何が何でもおれがおれでいいんだよ」

513
. . .
' 19
- 1910

「アーティストの心」

成一「怖がうなべて大丈夫だよ、俺に任せし。キミの」ル、おかしきせあげるがう……。

547

548 第二回 おとぎの國のアリス

549

- 582 成 | 「(クハ) | つむかひの隠れぬこひし」ルセー 漢語の隠匿がでかくねこのへ。
- 583 584 1 『スヌーラジムもジムもまなだらか』、あそばれてる時ひどい。
- 585 #ね、ナリが博奕に迷つこひて暁のめだ、クハ | 順盤の「たな」
- 586 (クハ) | 一〇三
- 587 ルロマーハ『ぬい…… ルヌウトニヒメジ……』
- 588 589
- 590 成 | 「ニハモドヘ…… ハー、ナリが博奕に迷つこひて暁のめだか」、ナリ次第かな。
- 591 漢語 | 隠匿のたぬくへ、ナリが回遊へてわざわざむかへ
- 592
- 593 ルロマーハ『……ハー、ルヌ、セ……』
- 594
- 595 成 | 「(クハ) | つむだひ)…… うら、ぬつやぐつせ。今せ、ルハの隠匿つて。
- 596 漢語の「ハ」、隠匿の「ニ」で……。ルハヤーマンローロコトモチハのたぬ
- 597
- 598 ルロマーハ『…… ハ、ルヌ…… う…… あひ……』
- 599
- 600 成 | 「マウルギハ、 漢語の隠匿がハマハハ。
- 601 セヌ…… 古歌アホリ…… ハイヒロ歌ニ隠ニ隠、 おむかト……
- 602 ルヌドヤーマツル物セ…… カキスルトマハトシ。 漢語の隠匿がハマハハ。
- 603 (クハ) | 一〇三
- 604
- 605 ルロマーハ『ぬい…… う……』
- 606
- 607 成 | 「セヌ、ニキハニシ。 漢語の「ハ」、丑つ入はまくねじつを隠すヨシトイ。
- 608 本歌ニキハニシ。ナリのスヌーラジムもジムもまなだらか」
- 609
- 610 成 | 「…… ルハ、スヌーラジムもジムもまなだらか」、 漢語の隠匿つ。
- 611 セヌルハセナハル | 漢語の隠匿つ。
- 612
- 613 ルロマーハ『ヌヌヌニヒ…… 隠匿つ。
- 614

- 615 成 | 「(ハハ) | つねか(レ) ハレ、 摂せねか(レ) や。
616 キリト王族のトカラの島をこなすのやつた。だから摂せぬハレセダムだ」
617
618 ルローハ『 えぬハ ハレ 摂せぬハレセダム 』
619
620 成 | 「(ハハ) | つねか(レ) 摂せぬハレセダム。 あ(レ)ル摂のルモリトハレセダム 」
621 摂せぬハレセダム土(レ) 摂せぬハレ
622
623 ルローハ『 エヌハ ハレ、 エヌハ 』
624
625 成 | 「(ハハ) | つねか(レ) ハレ 摂せぬハレセダム 。
626 エヌハセダムハセダムのハセダムハセダムハセダムハセダム 」
627
628 成 | 「(ハハ) ハセダムハセダムハセダムハセダム 。
629 キリト王族のハセダムハセダムハセダムハセダム 」
630 摂せぬハレセダム土(レ) 摂せぬハレセダム 。 摂せぬハレセダム 。
631 (ハハ) | 一〇六
632
633 成 | 「(ハハ) | つねか(レ) 摂せぬハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ
634 だか(レ) キリト王族のトカラの島をこなす 摂せぬハレ ハレ ハレ ハレ 」
635
636 ルローハが絶叫(ハ)
637
638 ロエズ : (レ) 摂せ
639 成 | 「 ハレ ハレ 摂せぬハレ ハレ 」
640 瞳(ハ) キリト王族のトカラの島をこなす 摂せぬハレ
641
642 成 | 「(離(ハ)キリト) ハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ 」
643 摂せぬハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ
644
645 成 | 「(キヌ数回) 大丈夫 摂せぬハレ 」
646 摂せぬハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ 摂せぬハレ
647

648 成一「ねえ、大好きだよ……俺の『JULY』がいいなっててくれた?」

649 (キス数回→トマーポキス10秒)

650

651 成一「キスしながら」はあ……大好き……ああ……愛ついて……。

652 俺の『JULY』見て。俺の『JULY』見て……」

653

654 成一「…………せあつ…………ナリ!が回数こ願すねか?」俺、JULYは欲情つかやつても……

655 責任取つてくれなさい……

656 (トマーポキス10秒)

657

658 成一「ねえ、ここよね……俺のJULY、ナリ!の母上博だつても……」

659 (トマーポキス5秒)

660

661 ルローハ『…………』

662

663 ▼トラック3

100  収録区切り⑥

卷之三

667

668

669 戲一「電」

670 今から、井川の申川の勃起ちゃん一弾れて、子宮の奥、先づせん突いても

それで、キミの中に射精して……俺の精子、子宮内に塗りこんであげるね。

……」んな夕、夕、垂れ流して本、かれしし

卷之二

675 挿入、正常位でセックスするふたり

9/9

678

679 戲——「打掃，打掃……」

卷之三

680 あ、カムキヌの跡が残っちゃった。まあいつか卒業したら結婚するよ。
681 #の體内どっこいもあつたがい……。離れたぐなんつうひつよ。

俺の「ちん」が持つてかれちゃい「うなぐら」、ナカがキツイツ……。

はあ……かわいい……が、歳を上るにしたがふ、覺悟ですね！」

685
『ノルマ』の構造

○○○

成「待たない。」のままたくさん突いて孕ませてあげるからつ。

俺との子と甘いもんね

08 (ピストン 10秒)

10

〔二〕 あかねの本屋

- 693 成 | 「せお……かわこう……かわこう……やへる口に題なせり……」
694 頭、墨わなこじも……せおひ……せおひ……俺の恋人、あーじに可憐に……。
695 あざれじでわ茶糰つねやニルヘリも……。
696 ね、アヌだ士血分が可憐にか分かひしのへ。
697 由田ナリのりんやくしや十 | 一つしたの景ひしゆめ……~」
698 (♪バーハーー〇絃)
699
700 成 | 「(♪バーハーー〇絃)……ひ……やへる墨の上に。このよごせに墨わだこをひむ……
701 ペハペハ狀にて、眞掛のちやう震ねても……。
702 ヴウ……キバウキバウ壁おせきて……ひ……が俺のくじに縦おつこいめぐる……
703
704 成 | 「(♪バーハーー〇絃)……ひ……かわこう……俺、余裕なべぬひにせぬやうにめぐる……
705 キリノ原精つたくじつ……つだくじ……だあえなこつ……」
706 (♪バーハー癡つんつんづく 一〇絃)
707
708 ロエズ:③
709 成 | 「(囂くやべ)せおひ……囂く壁がビクビク動いて……
710 憶の精子せづかひしゆおたこ……やへよつ憶の精子、溢つかつたんだ……」
711 (♪バーハー 一〇絃)
712
713 ロエズ:④痴つ
714 成 | 「(囂くやべ) (♪バーハーー〇絃)せお……
715 キスしづかひ、咲こだいじくせぬ区別あね~
716 憶つんづかひやへかな~。アヌとや、やへるて……ねだらつてくばのかな~。
717ね、今から舐せぬかな~。」
718
719 ルローハ『痴つんづかひ、だめ~』
720
721 成 | 「.....痴つんづかひ、二つ並ぶやくわづかひやダメなのが~。
722 ルヌとや、アヌとや憶のかな~。」

723 成 | 「#ハル' だマヤスコトをモチだムのヤハズモ...」

724 (癡コニユベトハ 一〇秒)

725

726 成 | 「スハ.....サヌ.....ナカダハズヘヒトシ.....」

727 メサルハムの、カスミノ穂コホリヨヌモハムノハ.....」

728 (キベツダガハ ピベトハ 一〇秒)

729

730 ピロヤハが繩門カハ

731

732 成 | 「ハウ..... 嘸ニイカズタム..... 藤糸コホリモハム...。」

733 (トマーピキベト一〇秒)

734

735 成 | 「キベツダガハ、イクの坂持モカツタハ。

736 ハコヒリコトハタムルハ、コハモニキベツダガハ坂持モカツタハ。」

737 (トマーピキベト一〇秒)

738

739 ピロヤハ『.....ウ.....カガハ.....』

740

741 成 | 「ヌ、ナシ」が撃ハの.....。キベツダガハ突ニタリモ.....癡コニユベトハム...。

742 ルヌビテ撃ハヒレ、ミヌベテモ、船運ナムコニヤヒタシ.....」

743 (ピベトハ 一〇秒)

744

745 ピロヤハ『サハ、繩門カモコドベハ.....』

746

747 成 | 「(ピベトハ)サハモビハ、サヌ.....キリハドハト後ニ繩カム.....」

748 ナカハ.....ウヌコトモリハ.....、海ガヨリモヤニルハ.....」

749

750 ピエズ:①

751 成 | 「ヌル..... | 回、ヤウトココヘ、キリモ母リモツモホニテ、藤糸コココヘ.....」

752ヌル、キリヤサガタヤサルハ.....。ルツタム、海ヒ、繩ヒ | 繩ヒヤウムモキムハ.....」

753 (激コニユベトハ 一〇秒)

- 785 成 | 「(△ペースト)しながら)たゞひそめ縫ひのやうになつた……」
- 786 もう腰がねかしづなつていかないへ「腰がねかしづなつていかない」
- 787 橋がねをそむき廻駆して走るたまひ……」
- 788 (トマーフキスー〇秒)
- 789
- 790 ドロード『せぬい……く……くらぬい……』
- 791
- 792 成 | 「(△ペースト)はつめだい)せぬ……本領に可憐になつた……」
- 793 誰にも見られなかつたのが不思議なうじ……」
- 794 じくはなれここ顔、俺以外に見せつけられぬよな……」
- 795 嫫つぶ……せぬ……あわ……だつあわ……俺のむへ……」
- 796
- 797 ドロード『く……く……やうの監禁つ……』
- 798
- 799 成 | 「(△ペースト)はせぬ、監禁つ……ダメだよ、めだくせぬこじ……」
- 800 橋のねこじ自然おねがひつになつてだかく。
- 801 脱糞したのじ……めだくせぬつわくじつめ……く……」
- 802 (△ペースト) 一〇秒)
- 803
- 804 ドロード『せぬい……く……くぬい……』
- 805
- 806 ドロード(○)
- 807 成 | 「△メドレの腰、回転かわせ……やうに腰かし……」
- 808 ものの回転で顔かねる……やうに腰かねる……」
- 809 (せぬい腰かねる△ペースト) 一〇秒)
- 810
- 811 成 | 「せぬい……く……くぬい、俺、おたづねかく……△のせだ腰かねるかわせ……」
- 812 ものの……じくはなれぬ腰かねる……俺がねいつだる腰かねる……」
- 813 あわじく腰かねる……」
- 814 (腰かねる△ペースト) 一〇秒)

846 DHM.①寄り

成 「ん。 いたなべさん。 +!! おまえで寝起きだから 。

848 ね、だから、まだ一つね、続ナよつね……」

849
第8章 丹波の歴史

850

成一「(おひたつ♪ストレ)しながら)せひ、ナリのめぐらからもだ焼れてる……

俺の精子がまだ欲しいって書いてるみたい……（軽くキス数回）

854
八〇二二年九月三十日

855

成——……次は、向かい合って、座って、愛し合おうか……。

858
ナニが妙だな世間を知らぬか」

860
卷之三

891

863

せんじを抜き 体制を変える

10

866 ○取録区切⑦

867

868 ○エミ:①姫つ

869 成 | 「可憐つ……本邦せみ豊かな國の如くも豊かにした上に……」

870 キリカの櫻つか土へべる上豊かななかつたなあ……」

871

872 ルロマー『ねたひ、スハ……ホホロソシニハル時ひ』

873

874 成 | 「ハニ、ホホロソシニハル時ひに瓶か土へべたスビツモ。

875 ルロドモ、キリカの櫻つか土へべたの如豊かなカム」

876

877 ベニシの暁ね瓶、枝圓座位となめうだつ

878

879 ○エミ:①

880 ルロマー『ハズ……』

881

882 成 | 「……ホドモ櫻瓶あらむる。キリカのホニの十カ・俺のホノハの形になひて……」

883 ルロドモ。櫻つかなあ……櫻の形を覗いたハルドモ。

884 キリカ、櫻の形になひて、俺のたつてひからせたる……世故ハ……スハ」

885

886 捜入

887 ルロマー『世故あらむるねハ一』

888

889 成 | 「櫻のホニ、ホカガナドモヘ。驚こたやつた……?」

890 キリカの櫻つか土へべる上豊かな櫻つか土へべる豊かに、

891 | 桜上博かねやつた……」

892

893 ルロマー『世故あらむるね……』

894

895

896

- 897 成 | 「せぬ……かねこ……かねこ……。俺の、ルビだよ、ルビ……。
898 おだやかで、おだやかで。だくさんやうやうやう……」
- 899 ルビで、煙草の燐火たゞかとたこしも……、翻ふたひゆう……」
- 900 901 成 | 「ドクターハンダギム)ハ……せぬ……おつかや坂井のここ……。
902 椅が転くたゞり立チ(の)ルセイ)が転スドト……、煙の立土レバタウ……
903 「立土煙のゆくじる落したつたひゆう……」
- 904 (燐火のドクターハーロウ)
- 905 906 ドローハ『かくまぬこ……ぬへ……ぬへ……』
- 907 908 成 | 「(ドクターハンダギム)……せぬ、ルビの燐火の燐火の燐火スドウ……
909 『成 | 』の音スドウ……。燐火……、煙、煙の燐火スドウ……」
- 910 (燐火のドクターハーロウ)
- 911 912 ドローハ『燐 | 烟燐スドウ……』
- 913 914 成 | 「(ドクターハンダギム)……。ナハル、ルビの燐火の燐火の燐火スドウ……
915 椅の燐火の燐火の燐火の燐火スドウ……、煙の燐火の燐火の燐火スドウ……」
- 916 917 ドローハ『燐スドウ……、ナハル、ナハル……』
- 918 919 成 | 「せぬ……煙の、ルビ、ルビの燐火の燐火スドウ……。
920 椅の燐火の燐火の燐火スドウ……、燐火の燐火スドウ……。
921 ナハルの燐火の燐火の燐火スドウ……。
922 ナハルの燐火の燐火の燐火スドウ……。
923 (燐火のドクターハーロウ)
- 924 (燐火のドクターハーロウ)
- 925 ドローハ
- 926 成 | 「せぬ(燐火の燐火の燐火の燐火スドウ)燐火の燐火の燐火スドウ……。
927 ドローハ『せぬ(燐火の燐火の燐火の燐火スドウ)燐火の燐火の燐火スドウ……』
- 928 (燐火のドクターハーロウ)

- 成 | 「立あ.....ト回籠つ.....セキの分かぬ.....」
930 毘の轄下、欲しこ欲しこト.....吸こたコレヒメの.....」
931 (漱こコロスルハ 10秒)
932
成 | 「ユベスルへつばたの) 毘わへ、ナリのナカニ轄トヨツだがトヘリ.....立あ.....」
933 毘の轄トヨツナリの轄波ドヨウムタヒトコロコロ轄ヒトヌ
934
935
成 | 「立アセコロ轄のトヨウヒテ.....」
936 気持わゆあわておかづなつたキトスガカハ
937 突こト跳こト跳わホウトスル
938 気持わゆあわておかづなつたキトスガカハ
939 (漱こコロスルハ 10秒)
940
成 | 「立ア.....立ア.....可歎こ.....」
941 毘の彼女.....。.....轄つか.....」
942 せぬ、やハ[口漱わキト] 毘が立アレカシのキスルヘだも.....」
943 (漱こコロスルハ 10秒)
944
成 | 「(ユベスルへつばたの) せぬ.....」
945 毘に立ア跳わヒテ.....。.....轄波ヒトスル
946 カハ[口漱わキト] 毘に立ア跳わヒテ.....。.....轄波ヒトスル
947
948 ルロマハ『立ア.....立ア.....』
949
成 | 「(ユベスルへつばたの) せぬ、」
950 毘のトヨウヒテ.....。.....可歎こ.....」
951 毘のトヨウヒテ.....。.....可歎こ.....」
952
成 | 「(ユベスルへつばたの) せぬ、」
953 毘のトヨウヒテ.....。.....可歎こ.....」
954 ヤセだコドツモ.....(解ハキスル)

- 960 成 | 「(キスながら)初めて身体を離さぬの」「……初めて口から離さないで……」
961「……」
962 (漱こごくスルハ 10秒)
963
964 成 | 「まあ……まあ……ああ……だこわい……歎こい……」
965 「JRの北側の山の上に立って、俺のJRW歎こい……」
966 (漱こごくスルハ 10秒)
967
968 成 | 「わい監視だつて、わざわざ立たなよ。」
969俺が満足するので、隣接に立たなよからい……」
970
971 成 | 「JRW歎こい……」
972離れたところへ立つて、JRW歎こい……」
973
974 成 | 「……立つて、わざわざ立つて、歎き立つて……」
975 「JRの北側の山の上に立つて、わざわざ立つて……」
976 (漱こごくスルハ 10秒)
977
978 成 | 「(JRW歎こい)……大好き……大好き……」「JRW歎かだぬの隣立つて……」
979おだやかに笑う。「JRW歎かだぬの隣立つて……」
980
981 成 | 「(JRW歎こい)……」
982「JRW歎こい」
983
984 □エヌ:①
985 成 | 「まあ、JRの北側の山の上に立つて、俺のJRW歎こい……」
986「JRの北側の山の上に立つて、JRW歎こい……」
987「JRの北側の山の上に立つて、JRW歎こい……」
988 (總頂立回転昇降車両 10秒)
989
990 成 | 「……イク……立つて、JRW歎こい……」
991

992 ルロマーハルゼーが総領トモ

993

成 | 「(雪崩を翻訳への 8秒)」

994

- 995 ○空虚四章⑧
- 996
997 成 | 「ハ.....せひ.....」ジの声が抜けていたくなかった。「まだトナリキだ.....」
- 998
999 成 | 「.....がんばった.....もやく繋がれたんだから.....」
- 1000 (空虚四章⑧ 106)
- 1001
1002 ドローハ『「もく.....もく.....』
- 1003
1004 成 | 「(空虚四章⑧).....やへ、姫の瓶廻りにならひ.....」
- 1005 猿飛ヤカナガルがやつたかな.....空虚四章廻りに瓶上ねり、空虚ついて.....」
- 1006
1007 ドローハ『空虚にならひ.....』
- 1008
1009 成 | 「(ドローハ).....」せふ.....空虚にならひ.....」
- 1010 本郷さん、ヤハの十面の姫の瓶廻りをやつしたのを我慢つてゐるから.....」
- 1011 本郷さんへ空虚つたてやだからヤハ.....」
- 1012 (ドローハ 106)
- 1013
1014 ドローハ『空ひ.....もじへ、ケコケコだらうへ.....』
- 1015
1016 成 | 「(ドローハ).....」口が妙やなんだ.....」
- 1017 ハーツだら、やへんかこかつてね。ぬうへ.....姫たやせこへ.....」
- 1018 ハハのヤハは空虚つてやかましい.....空虚つてやいもへ.....」
- 1019
1020 成 | 「(ドローハ).....」口が空虚つてやかましい.....姫のやうに大妙やつてやうへ.....」
- 1021空虚つてやかましい.....」
- 1022 (ドローハ 106)
- 1023
1024
1025
1026 成 | 「(ドローハ).....」

- 1059 成 | 「(ユバト) つねだる) せぬへ 大好やへ……。」
- 1060 せだへへるへ……下顎の十九へ……俺の顎下に扣つてたるへ……
- 1061 せだ玉]あわいへ……」
- 1062 (總門) 土門櫻花瓶へ〇余)
- 1063
- 1064 成 | 「イク……せうへ……ぐへ……ぐへ……イクシイクシ……」
- 1065
- 1066 ルロマヘル成 | 最後の總門をあわ
- 1067
- 1068 ロエズ:①輪つ
- 1069 成 | 「せあ……せあ……(輪を輪へへ〇余)
- 1070 ね、」JR東日本「ル | 總門こもへだ(輪)」
- 1071
- 1072 ルロマヘ『せあ、せあ……ぐへ……ぐへ……』
- 1073
- 1074 成 | 「……せせ、あかへた。まはな、舞鶴田舎つてあはへだ。
- 1075 あはじ懸つてぬ土へかへ、今土懸もへか……(キハ数回)」
- 1076
- 1077 ルロマヘ『あへ……』
- 1078
- 1079 成 | 「……好やだも……大好や……
- 1080 舞鶴のカバズモキハの友達かい聞こへむこへもかへた……。
- 1081 キハヒ土瓶か土へのせかし餘懸つてたかへる……」
- 1082
- 1083 ルロマヘ『せ……ぬ……』
- 1084
- 1085 成 | 「……かの櫻花たんじぬひがやへしれど……俺の瓶、かやへる櫻花! じやへる……~」
- 1086
- 1087 ルロマヘ『……ひ……せりじやへ、せか……』
- 1088
- 1089
- 1090 成 | 「……あかへた。まだ意識あつたね。

- 1091 タカラヅク、「アリスアリサマキヒタツダ……」
- 1092 ハスリを抜く
- 1093
- 1094 ドロヤハ『姫様ハー。』
- 1095
- 1096
- 1097 ドエス:①
- 1098 成|「あはー、ハスリ抜いただ土地へむやつた。」
- 1099 ハスリを抜いた地へ。
- 1100 ドロヤハ『アハ、ぬカドカ……』
- 1101
- 1102
- 1103 成|「アハ、アス。」JR線上は、アハムコ。
- 1104 ハスリ、ナリの地で、ハスリを抜いた地へむやつた。
- 1105 ハスリ、見て。ナリの地で、ハスリの裡の精ナハタリの娘だ。
- 1106 カハナコなコなあ……、JRの地が娘つてハスリ。
- 1107
- 1108 ドロヤハ『ハ……』
- 1109
- 1110 成|「アハ、ナリの地で、ハスリの娘だ。」
- 1111

▼トラック4

○收録区切り⑨

1115
1116

1118 二
ヒロセが漫録にてがん一 暫録にて。 韓田と共にヒロセが山を観てゐる

1120

1122
卷之三

1124

1126

1128 『モーリーのだぬの轆轤』

1130 レロマーハの左利き薬指に指輪をせぬ

成 うん、ひつたりだね。俺もつけてあるんだ。田舎。

1134
1135 **אָז** **לֹא** **יָמַר** **לְבָנָיו** **לְבָנָה** **לְבָנָה** **לְבָנָה**

1136 ああ、でも……子じもじやだとかのために、候補の家は何か所か決めてあるから……

1139 『新編夷語』卷之二

1141 成一「ん? 僕は十分待ったよ?」

「それ以上なことを待つて云ふの。今口上だつて、婚姻廻り出でたがたに……」

- 1143 成 | 「監査無理ヤホヤだかひ、我慢コトアリ!」
1144
1145 ルローハ『ルボサ』
1146
1147 成 | 「ルボサ、俺の! ジト好ヤだヒト! いたよな。
1148 大好物ヒシ、俺から離れなこヒト!」
1149
1150 ルローハ『……幅ニツカツ!』
1151
1152 成 | 「ふふ、眞(マサ)になこゆ無理なこか。
1153 ナリ、彼女ド離職トハジトモニタ……眞(マサ)トモハツモウガナコム」
1154
1155 ルローハ『……ドヤ、眞(マサ)ヤニカル!』
1156
1157 成 | 「ビ! む。絶対ニ離職アハ!」
1158 憶のだひヒ、廻(アラタマ)カムカムコト……ナリ! オジル君の奴(ヤク)ニ監(シテ)ルヤハドコム
1159
1160 ルローハ『……ヒ、誰(タレ)か人(ヒト)なヒコモカスル!』
1161
1162 成 | 「俺(オレ)がこなやつがこなかわしづなコドコム。
1163 (示幅)……こわいな人(ヒト)が思(おも)ひこころの城(シテ)にかみだハキリ」
1164
1165 ルローハ『……ハヘ!』
1166
1167 成 | 「……なにわなこ。ルビナコ……キヌコム。
1168 そ(ハ)……(キヌ数回) セヌ……セヌ……そ(ハ)(トマーフキヌー〇ヌ)」
1169
1170 ルローハ『……世(アラタマ)……』
1171
1172 成 | 「……巨(ヒラカタ)……お(アラタマ)……ヒ、こ(アラタマ)」
1173
1174 ルローハ『……ハ……監(シテ)が廻(アラタマ)のドヤルサカウ!』

- 1175 成 | 「ああ、腰痛のやうな気がする。」
- 1176 1177 「べつにかたかったな……キリの十九にたゞやく精子にれたるになかなあ……」
- 1178 1179 ルローハ『ハーメル、やつは口あたこなのはダメだよ。』
- 1180 1181 成 | 「…………ハーメル、なはダメなのが。」
- 1182 1183 「おおのヒサト、飯に食わなかつた？ あれだよ、おおのヒサトがおおのヒサトだのよ。」
- 1184 1185 成 | 「あ、ルーハ。体位が飯に食わなかつたのかな。」
- 1186 「わたくしのこんな体位つてあげなことじきなかつたね。今から腰痛のやうな気がする。」
- 1187 1188 ルローハ『ハーメル、飯を食つて』
- 1189 1190 ルローハ『ハーメル、お輩ー、おめでたー。』
- 1191 1192 成 | 「…………お腹が痛い。やつはおもてに腰が痛いんだよ。おおのヒサトがおおのヒサトだよ。」
- 1193 1194 1195 ルローハ『…………成 | ハーメル……』
- 1196 成 | 「ハーメル、ハーメル、おおのヒサトだよ。」
- 1197 「おおのヒサトの腰痛を醫で見ておおのヒサトは、腰痛が止まらないよ。」
- 1198 (トマーペキスー5秒)
- 1199 1200 ルローハ『…………おおのヒサト……』
- 1201 1202 成 | 「おおのヒサト、おおのヒサトはおおのヒサトだよ。」
- 1203 「ハーメル、おおのヒサトはおおのヒサトだよ。」
- 1204 「おおのヒサト、おおのヒサトはおおのヒサトだよ。」
- 1205 1206 ルローハ『…………成 | ハーメル、おおのヒサトだよ。』
- 1207 1208 成 | 「おおのヒサト、おおのヒサトはおおのヒサトだよ。」
- 1209 「おおのヒサト、おおのヒサトはおおのヒサトだよ。」

1210 成 | 「たへて出題を共にやくへなぞだかひ、轟つのが難題だゝ時へカゞ……」
1211
1212 成 | 「ヰリヰリの難題ヤニシモテモヘ、ノア、ノアカヒアヒト、一轟だかひな。
1213 おヒヂヰリの難題ヤニシモテモヘ、ノア、ノアカヒアヒト、一轟だかひな。
1214 ララ、ヰリのノアモニハニモテモ知ヒテルモ、ナニシモ、ナニシモ。
1215 だかひ、轟つ轟せつねこじね……」
1216 (轟ニキスレーロセ ハーネトウ)
1217
1218

END